## 「女性の病気」は自覚しにくい！知らない間に子宮頸がん予備軍に！
# 知っておきたい“子宮頸がん”の原因と予防対策最前線
### ～機能性食品AHCCで子宮頸がんの原因ウイルス“ヒトパピローマウイルス（HPV）”減少効果～

昨今、女性の社会進出もめざましいものがありますが、反面、女性にかかるストレス負担も大変多い時代です。そんな中、女性特有の病気の発症も他人ごとではなく、年々増加傾向にあります。忙しいからといって、無関心でいることにより、悪化の一途をたどることも少なくありません。

本ニュースレターでは、女性特有の病気である「子宮頸がん」にスポットを充て、子宮頸がんへの基礎知識、予防方法、さらに、株式会社アミノアップ化学にて、研究から製造まで行っている機能性食品「AHCC」の観点からお伝えできる最新の研究結果や、予防方法のアプローチなど、様々な視点からお伝えしてまいります。

## Topic1：他人事じゃない！20代から30代で急増する罹患率！

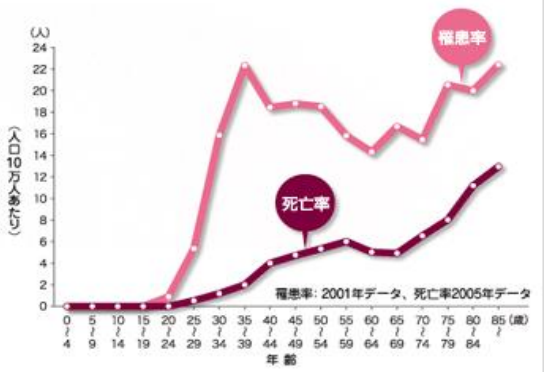
➢子宮頸がんとは・・・

HPV（ヒトパピローマウイルス）は子宮頸がん患者の99%が感染していることから原因ウイルスであると考えられています。HPVは女性の約80%は知らない間に感染しているといわれ、20～40代の若い年齢での感染者数が増加しているとも言われています。

子宮頸がんは毎年約3,000人以上が亡くなっているといわれる深刻な病気です。がんというと子宮体がんを含めて主に中高年になってから、多く発症するイメージがありますが、子宮頸がんは20代前半の発症者もおり、30代までの若い患者が多いのが現実です。

➢重症になると・・・

進行してくると子宮摘出など大がかりの手術になり、妊娠できず手術後の障害も多いといわれます。また、がんになっても進行するまで無症状であることが多く、子宮がん検診を若いうちから定期的に受けることは、何より予防・早期発見の観点から非常に大事です。




図：子宮頸がんの罹患率と死亡率（日本人女性）
国立がんセンターがん対策情報センター

## Topic2：子宮頸がんの予防効果が期待される機能性食品「AHCC」

2014年10月29日、米国・ヒューストンで行われた「第11回アメリカ癌統合医療学会（SIO 2014）」において、「ヒトパピローマウイルス（HPV）に感染した女性にAHCCを投与するとウイルスが死滅する」という研究結果が発表され、学会賞を受賞しました。

先に述べたとおりHPVは子宮頸がん患者の99%が感染していることから原因ウイルスであると考えられていますが、これを除去する医薬品は未だ開発されていません。現在、本研究は更に大規模な試験を計画しており、AHCCの作用とHPV死滅の因果関係解明に期待が寄せられています。

今後の研究成果によって、全世界で女性のがんによる死因の第4位（※1）に位置する子宮頸がんが、機能性食品によって予防できるようになるかもしれません。

※1 WHO2012年統計データより（http://globocan.iarc.fr/Pages/fact_sheets_cancer.aspx）

**本発表をした教授**

**ジュディス・スミス Judith A. Smith**
**テキサス大学ヘルスサイエンスセンター産・婦人・生殖化学分野 准教授**

テキサス大学ヘルスサイエンスセンターの女性の健康のための統合医療研究チームのリーダー。女性の健康、がんに関連した薬理学的な手法を用い、栄養およびハーブ・サプリメントの安全かつ効果的な使い方に焦点を当てた研究を行っている。

発表したのは、テキサス大学ヘルスサイエンスセンターのJudith A. Smith（ジュディス・スミス）准教授。

今回の発表は、2013年10月にアメリカで開催された癌統合医療学会（SIO）及び、2014年3月開催の婦人科腫瘍学会（SGO）において“動物モデル実験”について発表された研究成果が世界中で注目を浴びましたが、今回の発表は、この結果を基に“ヒト”への応用を目指して実施した 予備臨床試験です。

「この結果は非常に勇気づけられるものです。なぜならHPV感染の診断を受けた患者さんのフラストレーションを目の当たりにしながら、現状では何もできなかったからです…」とジュディス・スミス准教授は語っています。

★インタビュー映像 ：https://www.youtube.com/watch?v=R61umRb9Xes

## Topic3：ジュディス・スミス准教授　来日講演決定

この度、この画期的な研究結果を発表したジュディ・スミス准教授が日本で本研究を初講演予定です。
主に、3月28日（土）に行われる日本薬学会の講演を中心に来日、各地で講演会を行います。

**★「女性の美と健康を守る統合医療セミナー」（メディアセミナー）**
日時：3月26日（木）15:00～17:00
場所：新宿NSビル3階 3-K（東京都新宿区西新宿2丁目4番1号）
内容：①「HPV感染および子宮頸がん予防への挑戦」～AHCCの可能性～　ジュディス・スミス准教授
②「美と健康のために」～医療現場とサプリメントのあり方～　松倉知之先生
（松倉クリニック＆メディカルスパ院長）

**★「日本薬学会第135年会 ランチョンセミナー」**
日時：3月28日（土）12:15～13:15
場所：神戸学院大学B号館3F B301（神戸市港島1-1-3神戸学院大学ポートアイランドキャンパス）
内容：「ハイリスクHPV感染に対するAHCCによる治療の可能性」
日本薬学会URL：http://nenkai.pharm.or.jp/135/web/

**★「大阪大学卒後研修会特別追加講演」**
日時：3月29日（日）15:30～17:00
場所：大阪大学中之島センター 304号室（大阪市北区中之島4-3-53）
内容：「サプリメントの臨床応用への薬剤師の役割」

## ■AHCCとは？

AHCC（Active Hexose Correlated Compound：活性化糖類関連化合物）とは、シイタケ（*Lentinula edodes*）属に属する担子菌の菌糸体培養液から抽出されたα-グルカンに富んだ植物性多糖体の混合物です。これは、医薬品ではないわゆる健康食品・サプリメントとして、開発国の日本のみならずヨーロッパ、アメリカ、アジア、オセアニアなど広範囲で販売されており、現在では統合医療の一手段としても取り入れられています。AHCCの製造工程およびマネジメントはISO9001:2008,ISO22000:2005を含む国際的な品質や安全の標準化を厳守しており、また、日本国内では公益財団法人日本健康・栄養食品協会の健康補助食品GMPを取得。製造設備は医薬品製造に用いられる設備を導入するなど、厳格なシステムによって品質管理をしています。

AHCC粉末

培養タンク

培養中AHCC

アミノアップ化学　本社

## 株式会社アミノアップ化学

1984年設立以来、「身近な天然素材から健康に役立つ製品をつくる」という理念のもと、科学的に裏付けられた機能性の高い素材の開発を行っています。主力製品のAHCCは、独自の大型タンク培養法、抽出技術を確立して製品化され、世界二十数か国に輸出され、国内外の多くの医療機関で治療の補助として使用されています。

商号：　株式会社アミノアップ化学
所在地：　北海道札幌市清田区真栄363番地32
代表者：　代表取締役社長　藤井　創
資本金：　3億6900万円
事業内容：
・バイオテクノロジー（微生物大型タンク培養法）による
植物生育調節物質、担子菌由来抽出物等の製造及び販売
・天然物由来の生理活性物質の開発・製造及び販売
・タンク培養、生理活性物質抽出の技術を用いた試験製造
・天然由来の農業資材、食品添加物、健康食品素材、医薬品原料の生産
HP：http://www.aminoup.co.jp